

ツール5：ステークホルダーの特定

このツールの目的

ステークホルダーと彼らの特徴について「初期収集」を行い、参加するステークホルダーの役割を特定する。

このツールを使うタイミング

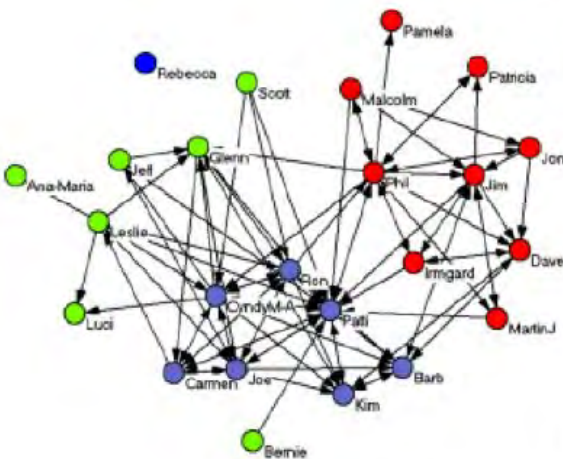
このツールは、MSP立ち上げの際に使うことができるが、MSP確立後に状況を振り返るために用いることもできる。参加するステークホルダーの役割は時と共に変わる可能性があり、以前に行ったステークホルダー分析の更新が必要となる。

ステークホルダーの特定とは

このツールを用いることで、MSPの参加者と彼らの関係性を時間をかけることなく可視化することができる。これは、ホワイトボードや壁に貼った模造紙を使い、大きめのポストイットとマジックを用いて行うことができる。

出来上がった図は、MSPの中で、どのステークホルダーとどのステークホルダーのつながりが強く、どのようなサブグループ間の協力関係があるかを示してくれる。参加者は、矢印の凡例について合意しなければならない。たとえば点線の矢印は弱いつながりを示し、太い矢印は強いつながりを示す、等。矢印の向きは両方向であり得る。異なるタイプの関係には、必ず異なる色を使うようにするとよい。

蜘蛛の巣のように見える図は、内側にも外側にも拡大することができる。インナーサークルにおり、そこで積極的に活動するステークホルダーと、インナーサークルにはいないが（ただし本当はいるべきだが）外部にいるステークホルダーという具合に加えていく。



収集した社会ネットワークについてのデータを取りまとめて提示する特別なソフトウェアを使いたい、あるいは社会ネットワーク分析（SNA）の手法を用いて自分の持つデータをさらに分析したいなら、多くのソフトウェアパッケージが利用可能であり、その多くはフリーソフトだ。どれか1つを特に推奨するつもりはないが、ベーシックなフリーソフト Social Network Visualizerは、私たちが使って役に立つソフトだった (<http://socnetv.sourceforge.net/>)。

社会ネットワーク分析は、ネットワークの力関係のダイナミクスを説明しようと思うと、一定の限界がある。そのため、SNAはパワー・マッピングと共に使うことを推奨する。

さらに知りたい方は：

IFPRIが開発したパワー・マッピングに関するツールは、以下で入手可能：

www.ifpri.org/publication/tracingpower-and-influence-networks

SNAは、うまく活用できれば、ネットワークやMSP内の影響力のパターンを理解するのに大きく役立つ。SNAのレッスンや、これをどのように適用するかについては、以下を参照のこと：

www.ids.ac.uk/idspublication/learning-about-analysing-networksto-support-development-work by Simon Batchelor (2011).

無料および有料のソフトウェアパッケージについては、以下を参照のこと：

http://en.wikipedia.org/wiki/Social_network_analysis_software